

市議会 いせさき

平成25年4月1日 No.41



いせさき市民のもり公園

第1回定例会 2月25日～3月21日(25日間)	
定例会の概要	2
主な議案の概要	2
一般質問	3～10
予算特別委員会審査	10～12
常任委員会審査	12～13
議案等審議結果	14～15
委員会名簿	16

平成25年 第1回定例会日程表	
3月21日	本会議
3月15日	建設水道委員会
3月14日	経済市民委員会
3月12日	文教福祉委員会
3月11日	総務委員会
3月8日	予算特別委員会
3月7日	予算特別委員会 (一般質問7人)
3月5日	本会議
3月4日	本会議 (一般質問8人)
2月28日	本会議
2月25日	本会議

平成25年4月1日 ◆◆◆市議会いせさき

常任委員会・議会運営委員会

平成25年2月25日現在

委員会名	総務	文教福祉	経済市民	建設水道	議会運営
定数	8人	8人	8人	8人	10人
委員長	小松光一	鈴木良尚	田村幸一	小谷原達夫	須永武久
副委員長	大和勲	新井智	手島良市	羽鳥基宏	鈴木良尚
委員	阿久津尚子 伊藤純子 須永久子 堀地裕司 馬庭充征 矢島征	内田英一 田方裕司 藤方公清 定多長谷 山越	北島元雄 小暮利幸 佐藤靖勉 新田一子 田村幸公 長谷田直 三好清彦	田島喜八 野田雄行 原田勤修 藤森大和	阿久津尚子 斉藤文公 多田和行 野長谷田 原藤見地 堀和

特別委員会

平成25年3月21日現在

委員会名	行財政改革	少子高齢化対策	東毛広域幹線道路等整備対策
定数	10人	10人	10人
委員長	斉藤優市	伊藤純子	田島喜八
副委員長	手島良市	多田稔	新井智
委員	小松光一 鈴木尚雄 野田勤子 藤堀裕司 堀地充征 馬庭和司 矢島勲	定方英一 佐藤靖勉 新田一子 田村幸公 長谷田直 三好清彦	阿久津尚子 北島元雄 小谷達夫 須永武基 羽鳥宏行 原田修 森大和 田和溥

※委員会、会派構成に変更がありましたのでお知らせします。

新議員紹介

去る1月20日、市議会議員補欠選挙により、三好直明氏、森田修氏、新藤靖氏が議員に当選されました。
なお、2月25日の本会議で常任委員会、特別委員会の所属が決まりました。

議会を傍聴しましょう

本会議は議場で、常任委員会は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。
なお、日程、時間等は変更になることがあります。

次回定例会日程表(予定)

6月 7日(金) 本会議
10日(月) 本会議(一般質問)
11日(火) 本会議(一般質問)
13日(木) 総務委員会
14日(金) 文教福祉委員会
17日(月) 経済市民委員会
18日(火) 建設水道委員会
24日(月) 本会議

会派別名簿

平成25年1月23日現在

伊勢崎クラブ

○原田和行	野田文雄	佐藤幸夫	大和溥
矢島征司	須永武久	定方英一	斉藤優
田島勉	鈴木良尚	大和勲	小谷原達夫
小松光一	新井智	新藤靖	小暮利明

政経クラブ

○藤見勤	田村幸一	羽鳥基宏	三好直明
堀地和子	森田修	山越清彦	

公明党

○阿久津尚子 手島良市 内田 彰

日本共産党議員団

○北島元雄 長谷田公子

明日のいせさき

○多田 稔 馬庭充裕

希望の会

○田島喜八

正論の会

○伊藤純子

○は代表者

第1回 定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、平成25年度一般会計予算及び各特別会計等予算13件、条例関係18件、平成24年度補正予算12件、人事案件5件、その他3件の、合わせて51件です。また、議員提出議案は4件です。（審議結果は、14ページから掲載）

■2月25日
本会議が開かれ、会期を3月21日までの25日間と決めました。

次に、伊勢崎市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案など議員提出議案3件を議題とし、採決の結果、原案のとおり可決しました。

続いて、伊勢崎市グローバル人材育成奨励基金条例案など13議案を審議し、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

次に、伊勢崎市議会の議決すべき事項を定める条例の一部を改正する条例案など32議案について、市長から提案理由の説明がありました。

■2月28日
本会議が開かれ、平成25年度伊勢崎市一般会計予算について、質疑が行われた後、議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、審査を付

託しました。

次に、伊勢崎市議会の議決すべき事項を定める条例の一部を改正する条例案など31議案について、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。

本会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長及び副委員長の互選を行い、委員長に斉藤優委員、副委員長に堀地和子委員が当選しました。

■3月4・5日
一般質問が行われ、15人の議員が質問し、市長や教育長、所管の部長などから答弁がありました。（一般質問の概要は、3ページから掲載）

■3月7・8日
予算特別委員会が開かれ、付託された平成25年度伊勢崎市一般会計予算について審査しました。（審査の概要は、10ページから掲載）

■3月11日
総務委員会が開かれ、付託された4議案及び請願について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■3月12日
文教福祉委員会が開かれ、付託された8議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■3月14日
経済市民委員会が開かれ、付託された9議案及び請願について審査をした後、所管事務調査が行われました。

■3月15日
建設水道委員会が開かれ、付託された10議案について審査をした後、所管

事務調査が行われました。

（各常任委員会の審査の概要は、12ページから掲載）

■3月21日
本会議が開かれ、伊勢崎市選挙管理委員会及び補充員の選挙が行われ、生形雅佑氏、高橋慶藏氏、高柳託治氏及び細井廣氏の4人が選挙管理委員に、また、奥積精一氏、須田育男氏、井上岑生氏及び松村勝一氏の4人が補充員に当選されました。

次に、予算特別委員長及び各常任委員長から付託された議案について報告があり、討論が行われた後、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

続いて、損害賠償の額を定めることについての1議案を審議し、採決の結果、原案のとおり可決されました。

続いて、副市長選任の同意についてなど人事関係議案5件を審議し、いずれも同意されました。

次に、議会改革調査特別委員長から議会改革に関する調査について報告があり、本調査が終了しました。

続いて、議員提出議案、伊勢崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例案を審議し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

主な議案の概要

伊勢崎市グローバル人材育成奨励基金条例案
本市出身の細野六郎氏から昨年12月

福祉施策の充実について
伊勢崎クラブ
野田 文雄

をサポートする手話通訳者や手を持つて通訳する触手話通訳者が少ないため、十分なサービスが提供されていません。そこで、手話通訳者の人数や通訳に対する待遇について伺います。また、本市は、総合計画において、障害者のニーズに応じた福祉サービスを充実し、障害者の自立を目指していることから今後の取り組みをお聞きします。

■答弁 本市では、聴覚障害者の方が医療機関へ通院するときなどに、手話通訳者を派遣する手話通訳者派遣事業を行っています。現在は22人の手話通訳者が登録されており、最初の1時間までが3000円、以降30分ごとに1500円の委託料を支払っています。また、手話通訳登録者の中には、盲ろう

障害の方に対して通訳ができる方が6人登録されています。なお、登録はされていませんが、県の講習を受け資格を持つ方が2人います。この盲ろう者に対する通訳者については、県の事業により、1時間当たり16600円の謝金を支払われています。次に、本市では、障害を持った方も分け隔てなくサービスを受けていただくことが必要なことから、高齢の聴覚障害者の方を対象にミニデイサービス事業を実施し、社会参加をいただいています。

■今後、手話の講習会の回数等を検討し、多くの市民に手話に関心を持っていただき、障害を持っている方の手助けをしていける施策を検討していきたいと考えています。

その他の質問
・今後の任期4年の市政運営について



手話通訳事業の充実を

ぐみ屋敷問題について
政経クラブ
三好 直明

■質問 現在、身近で全国的な問題となっているぐみ屋敷問題ですが、これに関係する条例は、伊勢崎市まちをきれいにする条例があります。この条例では、土地所有者等に対し廃棄物等による不良状態の禁止を規定しており、市の指導や勧告に従わない場合は、市が命令し、さらに従わない場合は、代執行を行うことを可能にしています。

そこで、現在の本市のぐみ屋敷の数

と対応状況及び過去に代執行を行った件数をお聞きます。また、本人がごみの撤去費用を負担する能力がない場合、行政がその費用を支援し撤去を行っている自治体もありますが、それを検討する考えがあるか伺います。

■次に、問題を解決するまでのスケジュールを設定し、時間的な限定を課すべきかと思いますが考えをお聞きます。また、自治体単独で問題を解決していくには難しいため、今後、国に対しての要望が必要であることから考えをお聞きます。

■答弁 ごみ屋敷と呼ばれる場所は、7カ所あります。対応状況は、行政指導により全て改善された場所が1カ所、何らかの改善が図られた場所が2カ所



良好な生活環境の確保を

で、残りの4カ所は改善が見られないことから継続して指導している状況です。次に、現在までに代執行を行った

に1億円を御寄附いただいたことを受け、本市としては、グローバル人材を育成する事業の財源に充てる基金の原資としてこの寄附を活用いたしたく制定の必要を認めたものです。

伊勢崎市特別支援学校児童生徒就学援助費支給条例の一部を改正する条例案
従来、市外の特別支援学校の小学部及び中学部に就学する市内在住の児童生徒の保護者に支給していました就学援助費を、新たに幼稚園及び高等部に就学する市内在住の幼児及び生徒の保護者にも支給することにより、通学に係る経済的負担の軽減を図るものです。

伊勢崎市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例案
伊勢崎市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例案

■両案は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部改正に伴い、高齢者や障害者等の移動等を円滑に行えるよう配慮するための道路の構造及び都市公園内の施設の設置に関する基準を定めるものです。

伊勢崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例案
議会改革調査特別委員会の調査結果を踏まえ、当該委員会に所属する賛成議員の発議により提出したものであり、議員定数を30人とするものとし、これを次の一般選挙から施行しようとすることに伴い、改正しようとするものです。

事例はありません。また、撤去費用を市が支援する考えは、条例に基づき対応をしていきたいと考えています。

■次に、それぞれの状況が異なるため、適正な基準や期間を決めることは、慎重に対応しなければならぬと考えており、伊勢崎市環境美化審議会でも調査審議していただき、関係機関にも協力をお願いし解決に向けて対応していきたいと考えています。また、国に対しては、既に要望をしていますが、なかなか個人の権利の主張に対して、それを規制する法律の改正ができていないという現状があります。

その他の質問
・市民活動支援について

学校教育について

伊勢崎クラブ

定方 英一

質問 山口教育長は、教育長に就任以来8年、本市の教育をいかに確立するかを考え続けていただきましたが、苦悩に満ちた日々であったかも知れません。しかし、本市の教育が大きく発展したのも事実であります。

人は学ぶことにより成長し、生きていくためには、学ぶことが何よりも重要です。少年よ大志を抱け。児童や生徒が、希望を持てる学校生活が送れる

よう教育環境を整えていくのは、我々の責任であると考えます。そこで、学校教育についてこれまでの成果と実績をお伺いします。また、今後の方針についてお聞きします。

答弁 合併による効果を踏まえ、大人と子どもが学ぶ街を推進しました。主な取り組みは、連携方式による小中9年間の一貫教育で、学力の向上が図れました。また、小学校1年生から英語活動を実施してきましたが、本年4月から、全小学校の全学年で英語科を実施します。また、中高一貫教育を行う全国初の市立中等教育学校を開校し、特色ある教育活動を展開しています。また、コミュニティスクールに指定した北小学校は、教育活動が充実し地域

からの信頼も高まっています。また、ミズーリ州立大学と協定を結ぶことができ、海外語学研修や海外留学への優遇措置を伴った進学及び学習進路を設定することができました。また、幼稚園、小中特別支援学校の全ての教室にエアコンを設置し、快適に学べる教室環境を整えることができました。

次に、今後の方針については、ふろさと伊勢崎を大切に、世界に羽ばたく人材を育成するために、時代の教育ニーズを的確に捉え、先進的な教育を展開していくことが大切です。そのためには、学校、家庭、地域が一体となつて、子供の創造性や個性を大切にしたいきめ細かな指導、教育に努めていくことこそ、涵養であると考えています。



発展する教育行政

その他の質問

・高齢化対策について
・流域下水道事業について

定住自立圏構想について

伊勢崎クラブ

大和 博

質問 定住自立圏構想は、総務省の圏域ごとに集約とネットワークの考え方に基づいており、本市では、合併1市圏域での取り組みとなっています。平成21年12月に中心市宣言を行い、平成22年9月定例会で伊勢崎市定住自立圏形成方針が議決され、平成22年12月に伊勢崎市定住自立圏共生ビジョンが策定されました。この共生ビジョンの特筆すべき意義についてお聞きします。

次に、群馬県保健医療計画の中では、医療連携体制の重要性が述べられています。そこで、本市、定住自立圏における地域医療の現状をお伺いします。また、民間投資促進交付金と財政措置についてお伺いします。

答弁 共生ビジョンの意義は、定住自立圏形成方針に示した政策分野の具体的な取り組みを定め、地域の役割分担を明確にして定住促進のための事業を着実に進め、圏域全体の連携により市の均衡ある発展を目指すことにあります。なお、本ビジョンの計画の進捗状況を反映した変更が必要になっており、今月中に定住自立圏の形成に関連する分野の関係者からなる定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、本ビジ



災害派遣医療チームDMAT

伊勢崎市民病院に続き、平成24年12月に伊勢崎佐波医師会病院が承認されました。伊勢崎市民病院では、平成23年6月に、地域医療支援病院の承認を受けました。次に、民間投資促進交付金は、本市においては、3つの医療法人の病棟の改修工事等の事業に対し、総額1億3550万円が交付され、地域医療の向上に大きな効果があつたものと考えています。また、平成21年度に地域活性化・きめ細かな臨時交付金が2割増の金額で交付され、平成22年度からは毎年7300万円程度の特別交付税措置が講じられています。

その他の質問

・第2次集中改革プランについて

まちの顔としての図書館、歴史民俗資料館のあり方について

政経クラブ

堀地 和子

質問 市民意識調査報告書によると、図書館の整備が強く望まれていることがわかります。また、今、開発が進む伊勢崎駅前ですが、医療機関以外に配置施設の具体的な姿はまだ見えていません。このことから、まちの顔である駅前に図書館が配置されれば、伊勢崎市は医療福祉と教育の町であるとの印象を与えるのではないのでしょうか。そこで、伊勢崎駅前への図書館移転の考

えについてお聞きします。次に、郷土資料については、現在、どのように収集され、保存、活用されているのでしょうか。また、郷土史研究者等の高齢化などにより収集された資料が散逸したり、活用が図られなくなる懸念されます。こうした研究者及び資料等への対応の考えをお伺いします。

答弁 伊勢崎駅前への図書館移転の考えについては、移転ができるか、移転すべきか、現状の図書館の機能をどうすべきかを包含し、将来的な検討課題ではないかと考えます。

次に、古文書、美術品、民具等の郷土資料を収集し保管されている郷土史研究者や研究団体の会員は、高齢な方

が多いと認識しています。このような状況で、郷土資料が埋もれたり散逸することは、地域の文化的財産が損なわれることになり、望ましいことではないと考えています。このため、郷土資料を保有している方の情報把握に努めるとともに、その資料を整理することとなった場合は、教育委員会に相談いただけるようお願いし、散逸の防止に努めているところです。また、個人が所有する郷土資料を教育委員会に提供していただく場合の対応については、申出資料の歴史的文化的価値を調査確認した上で、必要に応じて寄贈または寄託により受け入れし、郷土資料として保全活用に努めていきたいと考えています。今後も、地域の歴史の流れを



伊勢崎市図書館

答弁 本年度図書館利用者の60歳以上の割合は約20%となっており、その利用率は年々増える傾向にあります。高齢者への対応としては、活字の大きな図書や朗読CD、高齢者向け資料等を積極的に収集しています。また、高齢の利用者が安心してくつろげるようなスペースを用意したり、老眼鏡の数を増やすなどの工夫をしています。さらに、体の不自由な方、介護保険制度で要支援以上の市民を対象に、図書及びCD等を自宅まで届けるサービスである宅配事業も行っています。今後も、高齢の利用者に対し、図書館が憩いの場になるようなサービスを充実させていきたいと考えています。

示す文書等の歴史資料を収集し保存に努めるとともに、図書館等と連携して活用を図っていききたいと考えています。

市立図書館の今後のあり方について

伊勢崎クラブ

斉藤 優

質問 本市の図書館が、市民が集い交流する温かい場所となることを願っていますが、市役所の支所や公民館と並んで図書館の充実が求められています。そして、公共図書館はあらゆるライフステージにある人々に対し、学習に役立つ資料、情報を初め、学習の機会や場を提供し、学習活動を援助する機能を持っています。生涯学習時代において知的ライフラインとして、公共

図書館に寄せられる期待は大なるものがあります。定年退職した社会人が社会参加、社会貢献するために、余暇を生かして学習を続け、知的生産を行う場として、高齢者が利用しやすい図書館の施設、設備、サービスに配慮する必要があります。そこで、高齢者に対する工夫や考えをお聞きします。また、少子化や核家族化など子育てをめぐる社会環境が大きく変化する中で、読書を通じた子育て支援事業を実施することにより、子供に親しまれ、積極的に利用される図書館整備を進める必要があります。そこで、本を通しての親子の触れ合いづくりを含め、子育て世代への対応をお伺いします。

子育て世代への対応については、子

その他の質問

・境絹の館について

サービス付き高齢者向け住宅及び併設する介護サービス事業所について

伊勢崎クラブ

小松 光一

質問 高齢者を支援する住宅の確保が重要となっていることから、高齢者支援サービスを提供するサービス付き高齢者向け住宅の制度が創設されました。これを受け、県はサービス付き高齢者向け住宅を平成26年度末までに4,030戸に増やす目標量を定めており、本市へも進出件数が急激に増えています。また、本市にサービス付き高齢者向け住宅を整備する場合に、ほぼ介護

サービス事業所などが併設されており、介護ビジネスに参入し、利益だけを追求するような事業者が進出すれば、利用者の意に反した過剰なサービスが提供される危険性があります。また、サービス付き高齢者向け住宅は、原則として住所制特例制度が適用されないことから、市民が不公平な負担を強いられかねません。そのような介護サービス事業所が本市だけに増えると、本市の介護給付費は大きく増え、市民への適正な介護保険料設定とサービス提供ができなくなってしまう恐れがあります。そこで、介護サービス事業所を併設するサービス付き高齢者向け住宅の本市への集中進出を抑制できるよう、適切な処置を講じるべきであると思

いますが考えをお聞きます。また、サービス付き高齢者向け住宅に関する住所制特例制度の見直しについて伺います。

答弁 本年2月1日現在、本市にサービス付き高齢者向け住宅は、9施設開設しており、全て介護サービス事業所が併設されています。また、4施設が建設中です。集中的に増加した場合、入居者の介護給付費に対する市民負担の不均衡が生じることから、平成23年12月に、圏域や市町村別に分けて適正な整備計画の策定を、県知事に要望しました。また、併設する介護サービス事業所の利用者に対して適正なサービスが提供されるよう実地指導と監査の強化を要望しました。その結果、平成

24年3月に改定された群馬県高齢者居住安定確保計画の中では、サービス付き高齢者向け住宅が適正かつ安定的に提供される仕組みの整備検討と、適正な運営及び管理のため立入検査等を実施し、適切な指導監督に努める旨が示されました。

今後も県の動向を見ながら、市民に不均衡な負担が発生しないよう適正な介護保険運営をしていきたいと考えています。また、住所制特例制度の見直しについては、今後も強く国へ働きかけていきたいと思っています。

その他の質問

・県営サッカー場誘致について
・空き家、空き地対策について

成人式について

政経クラブ

森田 修

質問 成人式については、以前、私も式典に出席させていただきましたが、式典中の私語や雑談等が多く見受けられたことがあります。その後、本市の成人式は、実施方法が変わり、現在は中学校区ごとに各地域の会場で開催されています。そこで、過去と現在の実施方法について伺います。

また、四ツ葉学園中等教育学校を初め、他市においても中高一貫校が開校

し本市の生徒が通学しています。今後、これら多くの生徒が成人式を迎えるにあたり、式の実施方法の充実について考えをお聞きます。

答弁 平成17年1月の成人式については、旧市町村単位の4会場で実施しました。平成18年からは、伊勢崎市文化会館を会場にした一括開催を実施しました。一括開催により、合併前と比較し出席率は上昇しましたが、収容力がないことや、参加者の方々から、厳粛かつ地域性のある成人式にして欲しいという御意見も寄せられたことから、平成22年からは、中学校や地域からの推薦、公募によって選出された成人式実行委員会を中心に、地域の御協力をいただき式を実施することになりました。



成人式の充実を

中学校区単位の分散開催としました。分散開催については、新成人、来賓、育成団体、御家族などからの評判も良く、今後も中学校区単位で実施していきたいと考えています。また、本市の成人式は、新成人が希望する会場に、どこでも出席することができそうですので、四ツ葉学園中等教育学校や他市の学校などを卒業された新成人も、会場は指定せず、これまでと同様に希望の会場に出席できるように考えています。なお、会場数については、今後必要があれば検討していきたいと考えています。

その他の質問

・公園の管理について
・伊勢崎駅の南口整備について

伊勢崎駅周辺の活性化について

伊勢崎クラブ

大和 勲

質問 本市の社会資本整備は、伊勢崎駅前付近区画整理事業においても現在の道路を活用するなど、創意工夫により財政規律に配慮した整備がなされ、駅南口は、土地区画整理事業や連続立体交差事業の進展により、町並みが大きく変貌しようとしています。

そうした中、民間活力を利用した手法として、高崎市が、高崎駅西口にある市有地を民間事業者に貸して、多機

能型ビルの建設と管理運営を任せるという記事が新聞に掲載されていました。市街地の居住人口を増やして中心街の活性化につなげ、また、市の求める施設を民間の資金を活用して整備し、運営もそのまま任せ、経費の削減を図るといふものです。そこで、本市においても伊勢崎駅周辺を活性化させるため、民間活力を導入する考えをお伺いします。また、その具体的な方策がありましたらお聞きます。

答弁 伊勢崎駅周辺整備地区は、都市基盤整備が進み、また、南口駅前広場西街区は、土地の使用ができる状況となっていくことから、民間開発の誘導に向けて取り組んでいきたいと考えています。具体的には、南口駅前広場西街区に開発可能な用地1万3,000平方メートル程度を用意したいと考えています。なお、事業手法としては借地方式を考えています。これは、ビルを建設する自己負担が生じない、土地を貸すことにより収入が見込める、関係地権者に理解が得られやすいなど開発のリスクが低い手法です。また、業種及び業態については、生活必需品を販売する店舗等のにぎわい施設を望む声があることから、それらを参考に検討していきたいと考えています。



伊勢崎駅南口駅前広場イメージ図

その他の質問

・医療費の適正化について
・ふるさと寄附金について

華蔵寺公園について

伊勢崎クラブ

新藤 靖

質問 華蔵寺公園遊園地は、年間を通して多くの方が来園します。平成24年度は4月から12月までで、延べ130万人の方が遊園地の遊具を利用したそうです。また、土日や祭日には、市外や県外ナンバーの車も多く見かけられ、駐車場は満車状態になります。

この公園は、四季折々のイベントが企画され、来園者の方に喜ばれていますが、その魅力はなんとと言っても安全

に遊んでいたことだと思えます。そこで、事故を防ぐための遊具の点検内容及び時期について伺います。

また、遊園地は、子供たちにとって夢のような所です。これまで、来園者に人気があったC6120蒸気機関車の跡地に、新たなシンボルとなるものを設置する考えがあるかお聞きます。

答弁 華蔵寺公園遊園地の大型遊具の点検については、建築基準法による検査を実施するとともに、定期的な保守点検を年4回実施しています。遊具により点検内容は異なりますが、駆動装置や安全装置、電気設備などを中心に保守点検を実施するとともに、全ての遊具について毎日始業前に目視や試運転時に異音等の確認を行っています。



華蔵寺公園遊園地

また、遊園地以外の公園内の遊具については、遊具の性能低下を点検する劣化診断と形状や安全領域等の妥当性

を評価する基準診断を行っています。

また、遊具等の目視や触診点検を随時行っており、危険と判断した場合には直ちに使用禁止の措置を講じています。次に、C6120蒸気機関車跡にかわる車両の導入については、JR東日本高崎支社と協議を進めています。導入車両は、特急あさき等で活躍した車両を予定しており、導入に当たっては、空調設備や乗降用階段等の改装をして外観を楽しむだけでなく、車内でお弁当などを食べられる休憩施設としても活用していきたいと考えています。

その他の質問

・幼稚園について
・福島病院移転後の跡地について

北部環状線について

政経クラブ

羽 鳥 基 宏

質問 平成18年9月定例会において、北部環状線は市の内環状線を構成する主要幹線道路であり、地区間の重要な連絡軸として計画的に事業の推進を図っています。との答弁に、地元住民及び地権者は希望を抱いていました。ところが、平成21年6月定例会の答弁では、財政状況の悪化により、用地買収及び工事着手を一時的に延期せざるを得ないとのことでした。そして、平成

22年12月定例会では、国に新規補助事業採択の要望を提出しており、さらに群馬県知事に対しては交差する足利伊勢崎線の拡幅と合わせて平成23年度から補助事業としての予算配分要望を行ったとの答弁でした。ですが、いまだに進展が見られないことから、北部環状線についての考えをお聞きします。

答弁 北部環状線のうち鹿島町地内の国道462号から日乃出町地内の主要地方道前橋館林線までの約2・9キロメートルの未着手区間の事業化に当たっては、群馬県と協調した事業とすることで事業の推進を図る方針としました。昨年10月、平成25年度の県当初予算編成における予算措置等についての請願を提出し、県議会の審査結果は

趣旨採択となり、県関係機関に対し協調事業に向けた本市の意向が周知されたものと考えています。なお、日乃出町地内の主要地方道前橋館林線交差点の道路改良工事は完了し、安全性の向上が図られたところです。

その他の質問
・（仮称）伊勢崎宮郷工業団地について



北部環状線の早期整備を

小型家電リサイクルの取り組みについて

公明党

手 島 良 市

質問 現在、携帯電話やデジタルカメラなど、小型家電に含まれるレアメタルや貴金属は、多くを輸入に依存し、その大半はリサイクルされずに、ごみとして埋め立て処分されています。そこで、このレアメタル等の回収を進めるため、通称小型家電リサイクル法が昨年8月に成立し、本年4月に施行となります。この法律により、市町村が使用済み小型家電を回収し、国の認定

を受けた業者が引き取って、レアメタルなどを取りだすリサイクル制度が創設されることとなります。既に先駆的に取り組んでいる自治体もありますが、制度導入は市町村の任意であり、回収業務の中心的役割を担う市町村がどれだけ参加できるかが、リサイクル推進の鍵となります。そこで、小型家電リサイクルの取り組み及び普及啓発についての考えをお聞きします。



小型家電リサイクルの取り組みは

ごみ減量化につながるものです。本市も清掃リサイクルセンター21において、燃えないごみの中から作業員の手選別作業により使用済み小型家電の抜き取りを行い、再資源化に取り組んでいます。また、小型家電専用回収ボックスの設置については、既にモデル回収を実施している先進都市を参考にし、公共施設への設置及び市の広報紙やホームページを活用した市民への周知について検討していきたいと考えています。

その他の質問

・防災・減災対策について
・モバイルレジの導入について
・公用車へのドライブレコーダー導入について

ひとり暮らし高齢者の総合的支援について

日本共産党議員団

北 島 元 雄

質問 本市の高齢化率がついに20%を超えました。増え続けるひとり暮らし高齢者の受け皿づくり、尊厳と希望を持つて生きられる社会をつくることは重要な課題です。そこで、本市の75歳以上のひとり暮らし高齢者の現状及び、その中で介護を必要としている方の状況をお伺いします。

また、病院などから退院を迫られ、本人の判断能力が低下しつつあるひと

り暮らしが困難と思われる高齢者などへの医療、介護、福祉の連携の現状をお伺いします。

次に、虚弱なひとり暮らし高齢者が、在宅で過ごすには様々な支援措置が必要で、車に乘れない方にとっては、日々の買い物はどうするかが、暮らしを左右する大きな問題になります。また、荷物を持つて歩けない方にとつては、ごみ出しも大変な仕事になります。安否確認も兼ねて、ごみ出し支援を始めた自治体もあります。様々な工夫をし、見守りが必要なひとり暮らし高齢者の安否確認が行われるべきと考えます。そこで、孤独死等を事前に防ぐ対策の考えをお聞きします。

答弁 平成24年6月1日時点の、75

コミュニティスクールについて

明日のいせさき

馬 庭 充 裕

質問 学校運営協議会を設置している北小学校は、協議会に学校運営や教職員人事について関与する一定の権限が付与されています。一方、北小学校以外の学校では学校評議員制度を導入しています。この学校評議員について、学校運営に関して直接関与したり、拘束力のある決定を行うことはできません。文部科学省によると、そのいずれを置くかは、地域の実情等に応じ選

択することですが、今後、学校運営協議会への移行を積極的に検討していただくことが望まれるとあります。北小学校は、コミュニティスクールに指定されて、6年間が経過することから、他の学校との違いなどを分析する時期かと考えます。そこで、成果と課題をお伺いします。また、コミュニティスクールを市内の幼稚園や学校にも導入していく考えをお聞きします。



コミュニティスクールの導入を

いう思いが加わり、地域と一体となった特色ある学校づくりを行うことができています。また、ボランティアや外

歳以上のひとり暮らし高齢者数は、2739人で、前年度に比べ、119人増加しています。本年2月1日時点での介護度の状況は、要支援1が232人、要支援2が239人、要介護1が201人、要介護2が160人、要介護3が65人、要介護4が47人、要介護5が16人です。また、病院で退院を控え、判断能力が低下しつつあるひとり暮らし高齢者などの処遇困難なケースが発生し、連絡を受けた場合、メディカルソーシャルワーカー、地域包括支援センター、高齢福祉課及び社会福祉課が連携を図り、本人にとって最善の利益が図られるよう努めています。

その他の質問
・市民意識調査における合併後の伊勢崎市について

部講師等たくさんの方々からの指導を受けることで、子供たちが教師だけでは実現できない様々な体験学習を味わうことができるようになっていきます。さらに、子供の安心安全面の配慮をきめ細かに行うことができています。

その他の質問

・学力テストと学習状況調査について
・学校教育の充実について

認知症対応型及び小規模多機能型施設の行政指導について

正論の会
伊藤 純子

質問 近年、認知症高齢者グループホーム等の施設火災により、入所者等が死亡や重軽傷を負う事故が発生しています。そこで、これらの火災の教訓についてお聞きします。

また、これらの火災を受け、施設にスプリンクラーを設置する行政指導が進んだものと思われませんが、県内の認知症グループホームのうち、スプリンクラーを設置していたのは96%だった

ことが新聞に掲載されていました。そこで、本市における認知症対応型施設等の数及び設置状況とその確認方法、防火対策について伺います。

答弁 本年2月13日に地域密着型サービス事業所に対し、防火安全対策に万全を期すよう指導の通知を行うとともに、火災発生時の防火安全体制の調査を実施し、全ての事業所で防火安全体制が整っていることが確認できました。また、事業所の実地指導時にも非常災害訓練が適正に行われているか確認しています。

本年2月1日現在の認知症対応型施設は17事業所、小規模多機能型施設は8事業所です。市内事業所のスプリンクラーの設置状況は、建て替えを検討

している1事業所を残し、全てに設置済みであり、現地にて設置確認を行っています。また、新設する施設は、建築確認申請時に防火扉・非常用照明・排煙設備の審査、建築基準法及び消防法等に適合していることを照合し、施設完成時には現地で完了検査を行っています。既存施設は、スプリンクラー設備、自動火災報知設備等の消防用設備の維持管理及び防火管理体制の確認のため計画的な立入検査を実施しています。

今回の火災を受け、臨時検査を実施し、夜間を想定した避難訓練の実施、喫煙等の火気管理及び避難経路の確保を徹底するなど、なお一層の防火安全対策を図っていきたいと考えています。

その他の質問

・歯科保健対策について
・学校週6日制の導入について



認知症対応型施設等の防火安全対策を

予算特別委員会審査

2月28日の本会議で予算特別委員会に付託された平成25年度伊勢崎市一般会計予算について、同委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

歳入

◎市税

質疑 償却資産の未申告対策について
答弁 広報紙及びホームページでの周知、事業用新築家屋調査時の制度説明並びに現在協力を依頼している会計事務所のほか、今後は、法人会や税理士会等へ協力依頼を広げます。

質疑 都市計画税の積算根拠について
答弁 地価の下落が続いている状況及び新増築家屋件数の低迷により、対前年度比98・8%の14億1910万円を見込み、予算計上したものです。

◎地方消費税交付金

質疑 地方消費税交付金の増額理由について
答弁 本年度の収入実績、内閣府の消費動向調査及び消費税率改正前の駆け込み需要を勘案し、11・8%増の19億円を見込み、予算計上したものです。

◎分担金及び負担金

質疑 放課後児童クラブ保育料の増額理由について
答弁 平成23年4月から平成24年9月までの保育料の納入率が、前年と比較

して向上していること及び入所児童予定数の増加を勘案し、528万円の増額を見込んだものです。

◎県支出金

質疑 新規就農者確保事業費補助金の内容について
答弁 人・農地プランに位置づけられた新規就農者等を対象とし、年間150万円を最長5年間給付する制度に基づくものです。

◎財産収入

答弁 土地貸付収入の増額理由について
答弁 群馬県警察本部へ伊勢崎駅前の交番敷地として、344平方メートル、医療法人上毛会へ病院駐車場用地として鹿島町地内の市有地、3629平方

歳出

◎総務費

質疑 放置自転車等及び放置自動車対

策事業の内容と工期について

答弁 J Rの高架下1050平方メートル、東武鉄道の高架下350平方メートル、合わせて1400平方メートルを駐輪場として整備するもので、平成25年10月から平成26年3月を工期として予定しています。

質疑 地域コミュニティ活動事業補助金の対象事業について

答弁 一般備品整備事業、伝統芸能備品整備事業及び集会施設整備事業の3事業が対象となるもので、補助対象経費の10分の10以内で上限30万円を補助するものです。

◎民生費

質疑 地域移行支援費及び地域定着支援費の内容について

答弁 地域移行支援費は施設や病院からの退院後、円滑に地域に移行できるよう支援するもので、地域定着支援費は、単身等で生活していた人について



予算特別委員会

その後の相談等必要な支援を行う事業で、それぞれ10人を予定しています。
質疑 認可外保育施設支援事業の内容について
答弁 保育士を基準より加配した場合に、1人当たり月額14万5250円交付する保育士配置充実事業を5施設、入所児童の健康診断を年2回実施した場合に、1人当たり2940円交付する健康診断実施事業を3施設、施設の設備改修、または、備品等の購入をした場合に交付する施設改修事業を1施設で予定しており、群馬県及び本市がそれぞれ2分の1を補助するものです。
◎衛生費
質疑 特定不妊治療費への助成内容について
答弁 体外受精、顕微授精などの特定不妊治療の費用が対象で、1年度に1回限り、通算3回を限度とし、対象費用から群馬県の上限助成額である15万円を差し引いた残額の2分の1を、10万円を上限に助成するものです。
◎労働費
質疑 緊急雇用創出事業の事業内容及び雇用人数について
答弁 観光案内事業で4人、有害サイト見守り隊事業で8人、ICT事業推進支援員配置事業で36人、いせさき家族でいただきますの日推進事業で4人、特別支援教育サポーター事業で40人、合計5事業で92人の雇用を予定しています。
◎土木費
質疑 緊急輸送道路沿道建築物調査等

平成25年度 各会計予算

(単位：千円 %)

区 分		25年度	24年度	増減率
一般会計		70,500,000	69,800,000	1.0
特 別 会 計	小型自動車競走事業費	15,638,458	17,820,388	△ 12.2
	学校給食センター事業費	1,777,739	1,793,400	△ 0.9
	国民健康保険	21,467,197	20,873,825	2.8
	後期高齢者医療	1,765,471	1,842,827	△ 4.2
	介護保険	13,585,115	12,742,720	6.6
	下水道事業費	3,305,379	3,117,918	6.0
企 業 会 計	農業集落排水事業費	601,253	588,572	2.2
	特定地域生活排水処理事業費	18,255	30,907	△ 40.9
	水道事業	5,616,689	7,089,477	△ 20.8
	病院事業	15,908,876	15,552,666	2.3
	介護老人保健施設事業	273,910	252,290	8.6
訪問看護事業		66,760	67,920	△ 1.7

※水道事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の予算額は、収益的支出額と資本的支出額の合計額です。

業務の進め方について
答弁 緊急輸送道路延長95キロメートルの沿道の建築物で、道路幅員12メートルを超える場合は、幅員の2分の1の高さを超える建築物、道路幅員12メートル以下の場合、高さ6メートルを超える建築物を特定した後に、耐震診断を行い、結果により、県の補助金等による改修の補助等も考慮し、事業

を進めていきます。
◎教育費
質疑 赤堀中学校整備事業の内容について
答弁 設計等業務委託料は実施設計分として7700万円、工事請負費は校舎及び体育館の工事費の30%である6億9660万円を予算計上したものです。

質疑 三軒屋遺跡の国指定への見通しについて

答弁 これまでの発掘調査で、正倉域の範囲が確定したことにより、発掘調査報告書の総括編の作成に至り、平成25年度は文化庁と指定に向けた事前協議を進めていく予定です。

その他の主な質疑

- ・ コミュニティバス運行委託料の減額理由について
- ・ 世界遺産登録推進事業の工事請負費の内容について
- ・ 不動産鑑定委託料の増額理由について
- ・ 障害者虐待防止センター休日夜間相談の職員体制について

常任委員会審査

2月28日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

平成25年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算については、審査において、勝車投票券発売収入の減額理由について質疑があり、これに対し、本場開催日数の変更はないものの、ここ数年の本場、場外及び電話投票における車券売り上げの落ち込みを見込んだものであるとの答弁がありました。また、一般会計への繰り出しの考えに

- ・ 生活保護費の就労支援体制の充実に
- ついて
- ・ ごみ処理施設長寿命化計画策定委託料の内容について
- ・ 地域特産物育成対策事業費補助金の対象事業について
- ・ 自転車タクシー運行業務委託料の内容及び雇用形態について
- ・ 土地開発公社からの土地の買い戻しについて
- ・ 消防自動車等の燃料給油について
- ・ 茂呂公民館の増築工事の内容について

総括の質疑

質疑 予算規模の考えについて

答弁 当初予算額は対前年度比1％増の705億円で、人口1人当たりに換

ついて質疑があり、これに対し、可能な限り早い段階で一般会計へ繰り出せるようにしたいと考えているが、平成25年度は、払い戻し率の変更等を昨年実施したことから、オートレースファインへの還元として、いせさき花火大会事業補助金を2000万円に増額し計上したものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された4議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市特別支援学校児童生徒就学援助費支給条例の一部を改正する条例案については、審査において、支給対象者の拡大理由について質疑があり、

議会改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会に付託された事件に関し、3月21日の本会議において、その調査の経過と結果について委員長から報告が行われました。概要は次のとおりです。

平成22年6月25日の本会議において、議会改革についての調査を行う必要があると認められることにより、会派から選出された委員、12人による構成をもって設置されました。

平成22年10月29日の第4回委員会において、定例会の日程予定案を市議会いせさき及びホームページに掲載すること、一般質問順位表をホームページに掲載すること、質疑一覧表を傍聴者に配布すること、常任委員会への傍聴を認めることを確認し、議会運営委員会での諮問を経て、同年12月定例会から実施しました。

平成23年2月9日の第7回委員会においては、一般質問順位表を情報コーナーに配置すること、本会議において一括採決方式を導入することを確認し、議会運営委員会での諮問を経て、同年3月定例会から実施しました。

平成23年4月21日の第9回委員会においては、常任委員会会議録をホームページで公開すること、一般質問の発言順序を変更することなどを確認し、議会運営委員会での諮問を経て、同年6月定例会から実施しました。

平成23年11月18日の第11回委員会においては、議長交際費支出基準を新基準に改めることを確認し、議会運営委

算すると33万9931円となり、県内12市と比較し、一番低い額であることから、都市としての行政効率が一番よいと言え、今後も行財政の効率的な運用を図っていきます。

質疑 国の大型補正予算に対する対応について

答弁 対象事業は一般会計では8課の12事業で、総事業費10億6325万4000円であり、採択された事業は平成24年度の繰越事業として事業を優先させ、不採択となった事業は平成25年度の当初事業として対応するものです。

質疑 支所充実の考えについて

答弁 支所は地域活動や住民サービスの拠点施設として大変重要な施設であり、行財政改革による組織のスリム化

これに対し、従来は教育委員会で義務教育の小学部及び中学部の児童・生徒の保護者に支援を行ってきたが、家庭の経済的、時間的負担の軽減を図るため、幼稚園及び高等部に通学する幼児、生徒の保護者も支給対象とするものであるとの答弁がありました。また、支給見込み人数について質疑があり、これに対し、小学部及び中学部は35人、幼稚園及び高等部は60人を見込んでいるとの答弁がありました。

次に、平成25年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算については、審査において、放射性物質の検出限界値基準の設定について質疑があり、これに対し、国、県は100ベクレル以下としているが、本市においては独

員会での諮問を経て、平成24年4月1日から実施しました。

平成24年1月20日の第12回委員会から平成25年2月12日の第18回委員会までは、政務調査費、議会基本条例及び議員政治倫理条例の制定、議員定数、議員報酬について調査を行いました。

平成25年2月25日の第19回委員会においては、議員定数について調査を行

により、合併前の役場の職員数と比較すると大幅な減少となっているが、本庁との連携を密にすることで、住民サービスの低下を招かない水準を保っており、各支所が多くの市民でにぎわうための有効活用策について、支所のあり方を含め、さらに検討を重ねていきます。

審査の結果

討論においては、北島元雄委員から反対、馬庭充裕委員、大和勲委員及び田村幸一委員から賛成の、それぞれ意思表明が行われ、引き続き採決の結果、平成25年度伊勢崎市一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

自購入した放射線測定器での検査により15ベクレル以下としているとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された8議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市小水道条例案については、審査において、専用自家水道を設置している事業所数について質疑があり、これに対し、株式会社富士ハム、柏井建設株式会社、サンデン八斗島事業所、フレスコ株式会社、株式会社サンデリカ及び岡部工業株式会社の6事業所であるとの答弁がありました。

次に、平成25年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算については、審査に

い、採決の結果、賛成多数により、現行定数32人を30人とするを妥当とし、これを次の一般選挙から実施することの決定をもって、議員定数についての調査を終了しました。

なお、委員長報告において省略した事項については、委員の協議により、現状のとおりとする結果となり、103項目全ての調査を終了しました。

特別委員会調査

東毛広域幹線道路等整備対策特別委員会

3月15日に東毛広域幹線道路等整備対策特別委員会が開かれ、東毛広域幹線道路整備事業及び市道（伊）2級15号線（名和幹線）道路整備事業について調査を行いました。

平成24年度 各会計補正予算

(単位：千円)			
区 分		補正前の予算額	補 正 額
一般会計（第5号）		70,589,343	△ 177,497
特 別 会 計 等	小型自動車競走事業費（第3号）	18,503,323	1,417
	学校給食センター事業費（第3号）	1,850,625	△ 9,212
	国民健康保険（第2号）	21,025,306	533,419
	後期高齢者医療（第3号）	1,847,836	△ 64,497
	介護保険（第4号）	13,307,362	△ 3,884
	下水道事業費（第3号）	3,183,455	259,228
	農業集落排水事業費（第3号）	589,731	△ 29,012
	特定地域生活排水処理事業費（第1号）	30,907	△ 546
	水道事業（第1号）	資本的 2,594,408	208,879
	病院事業（第2号）	収益的 13,818,838	107,648

※水道事業及び病院事業の予算額は、支出額を掲載しています。

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第36号	平成25年度伊勢崎市介護保険特別会計予算	経済市民	3.21	可決(賛成多数)
第37号	平成25年度伊勢崎市下水道事業費特別会計予算	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第38号	平成25年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計予算	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第39号	平成25年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計予算	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第40号	平成25年度伊勢崎市水道事業会計予算	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第41号	平成25年度伊勢崎市病院事業会計予算	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第42号	平成25年度伊勢崎市介護老人保健施設事業会計予算	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第43号	平成25年度伊勢崎市訪問看護事業会計予算	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第44号	市道路線の廃止について	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第45号	市道路線の認定について	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第46号	損害賠償の額を定めることについて		3.21	可決(全会一致)
第47号	副市長選任の同意について 吉田文雄氏（堀口町）		3.21	同意することに 決定(全会一致)
第48号	監査委員選任の同意について 猪俣 健氏（富塚町）		3.21	同意することに 決定(全会一致)
第49号	教育委員会委員任命の同意について 萩原裕子氏（境上武士）		3.21	同意することに 決定(全会一致)
第50号	教育委員会委員任命の同意について 徳江基行氏（東上之宮町）		3.21	同意することに 決定(全会一致)
第51号	公平委員会委員選任の同意について 神立ひろの氏（今井町）		3.21	同意することに 決定(全会一致)

議員提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第1号	伊勢崎市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案		2.25	可決(全会一致)
第2号	伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例案		2.25	可決(全会一致)
第3号	伊勢崎市議会会議規則の一部を改正する規則案		2.25	可決(全会一致)
第4号	伊勢崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例案		3.21	可決(賛成多数)

報 告

番 号	件 名	期 日	結 果
第1号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.25	報告
第2号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.25	報告
第3号	市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について	2.25	報告
第4号	市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について	2.25	報告
第5号	市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について	2.25	報告

請 願

番 号	件 名	付 託 先	結 果
第1号	米軍輸送機オスプレイの配備・訓練および米軍機低空飛行訓練の中止を求める請願	総 務	継続審査
第1号	年金2.5%削減の中止を求める意見書の請願	経済市民	継続審査

陳 情

番 号	件 名	送 付 先
第1号	国に地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める陳情	総 務

平成25年第1回定例会提出議案等の審議結果

市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第1号	伊勢崎市グローバル人材育成奨励基金条例案		2.25	可決(全会一致)
第2号	平成24年度伊勢崎市一般会計補正予算（第5号）		2.25	可決(全会一致)
第3号	平成24年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算（第3号）		2.25	可決(全会一致)
第4号	平成24年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第3号)		2.25	可決(全会一致)
第5号	平成24年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		2.25	可決(全会一致)
第6号	平成24年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		2.25	可決(全会一致)
第7号	平成24年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第4号）		2.25	可決(全会一致)
第8号	平成24年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）		2.25	可決(全会一致)
第9号	平成24年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第3号）		2.25	可決(全会一致)
第10号	平成24年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計補正予算（第1号）		2.25	可決(全会一致)
第11号	平成24年度伊勢崎市水道事業会計補正予算（第1号）		2.25	可決(全会一致)
第12号	平成24年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第2号）		2.25	可決(全会一致)
第13号	平成24年度伊勢崎市訪問看護事業会計補正予算（第1号）		2.25	可決(全会一致)
第14号	伊勢崎市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例案	総 務	3.21	可決(全会一致)
第15号	伊勢崎市情報公開条例等の一部を改正する条例案	総 務	3.21	可決(全会一致)
第16号	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	3.21	可決(全会一致)
第17号	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第18号	伊勢崎市特別支援学校児童生徒就学援助費支給条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第19号	伊勢崎市人権教育推進委員会条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第20号	伊勢崎市新型インフルエンザ等対策本部条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第21号	伊勢崎市小水道条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第22号	伊勢崎市福祉作業所条例等の一部を改正する条例案	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第23号	伊勢崎市プリティータウンの丘磯沼荘条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第24号	伊勢崎市養護老人ホーム条例及び伊勢崎市みやまセンター条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第25号	伊勢崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第26号	伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第27号	伊勢崎市勤労者生活資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.21	可決(全会一致)
第28号	伊勢崎市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第29号	伊勢崎市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例案	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第30号	伊勢崎市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例案	建設水道	3.21	可決(全会一致)
第31号	平成25年度伊勢崎市一般会計予算	予算特別	3.21	可決(賛成多数)
第32号	平成25年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算	総 務	3.21	可決(賛成多数)
第33号	平成25年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算	文教福祉	3.21	可決(全会一致)
第34号	平成25年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算	経済市民	3.21	可決(賛成多数)
第35号	平成25年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計予算	経済市民	3.21	可決(賛成多数)